令和９年度

九州大学大学院システム生命科学府博士課程
第３年次編入学学生募集要項（第２次）

（一般選抜・社会人特別選抜）

※本入試の出願は，インターネット出願により行います。インターネット出願の方法等については，九州大学システム生命科学府ウェブサイトに掲載しています。
https://www.sls.kyushu-u.ac.jp/examinee/entrance_exam/

目　　次

【一般選抜】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

【社会人特別選抜】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

【一般選抜・社会人特別選抜共通事項】・・・・・・・・・・・・・・・　３～　１５

【一般選抜・社会人特別選抜提出書類】・・・・・・・・・・・・・・・　１６～　１７

	日　　程
出　願　期　間	令和９年　１月６日（水） ～１月１２日（火）
試　　験　　日	令和９年　２月１日（月）
合　格　発　表	令和９年　２月１２日（金）

九州大学 大学院
システム生命科学府

【一般選抜】

１．専攻及び募集人員

専　　攻	募集人員	専　門　分　野
システム生命科学	若干名	生命情報科学 生命工学 生命医科学 生物科学

２．出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

（１）修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和９年３月３１日までに取得見込みの者
（２）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和８年３月３１日までに授与見込みの者
（３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月３１日までに授与見込みの者
（４）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月３１日までに授与見込みの者
（５）国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和５１年法律第７２号）第１条第２項に規定する１９７２年１２月１１日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月３１日までに授与見込みの者
（６）外国の学校、第４号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、九州大学大学院通則第２７条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び令和９年３月３１日までに認められる見込みの者
（７）文部科学大臣の指定した者
（８）本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９年３月３１日までに２４歳に達する者

※出願資格（７）または（８）により出願しようとする者は出願に先立ち、「７．出願資格の事前審査」に記載する事前審査を受けなければならない。

３．選抜方法

（１）選抜は提出書類及び学力検査の結果により総合的な審査を行う。
（２）学力検査は研究発表及び口述試験により行う。

４．学力検査科目

専門分野	試験科目	試験日時
生命情報科学 生命工学 生命医科学 生物科学	研究発表	２月１日(月)
	口述試験	

※詳細については、願書受付後にインターネット出願システムを通じて、文書により通知する。

【社会人特別選抜】

1．専攻及び募集人員

専　　攻	募集人員	専　門　分　野
システム生命科学	若干名	生命情報科学 生命工学 生命医科学 生物科学

2．出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、出願時において、企業，官公庁等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、所属長の推薦を受けた者

（1）修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和９年３月３１日までに取得見込みの者
（2）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月３１日までに授与見込みの者
（3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月３１日までに授与見込みの者
（4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月３１日までに授与見込みの者
（5）国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和５１年法律第７２号）第１条第２項に規定する１９７２年１２月１１日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月３１日までに授与見込みの者
（6）外国の学校、第４号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、九州大学大学院通則第２７条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び令和９年３月３１日までに認められる見込みの者
（7）文部科学大臣の指定した者
（8）本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９年３月３１日までに２４歳に達する者

※出願資格（7）または（8）により出願しようとする者は出願に先立ち、「7．出願資格の事前審査」に記載する事前審査を受けなければならない。

3．選抜方法

（1）選抜は提出書類及び学力検査の結果により総合的な審査を行う。
（2）学力検査は研究発表及び口述試験により行う。

4．学力検査科目

専門分野	試験科目	試験日時
生命情報科学 生命工学 生命医科学 生物科学	研究発表	2月1日(月)
	口述試験	

※詳細については、願書受付後にインターネット出願システムを通じて、文書により通知する。

【一般選抜・社会人特別選抜　共通事項】

５．出　願　手　続

（１）出願方法

① 出願手続は、インターネット出願システムへの入力により行います。

https://www.sls.kyushu-u.ac.jp/examinee/entrance_exam/

② インターネット出願システムへの入力期間は、**令和９年１月６日（水）午前１０時から、１月１２日（火）午後５時**までとする。

この期間までに，出願完了のボタンを押し、出願を完了させてください。出願完了のボタンを押さないと、出願が完了したことにならないので注意すること。

また、出願完了のボタンを押す前に上記入力期間が過ぎた場合でも、出願は受け付けられないので、注意すること。

③ 出願書類等に不備のあるものは受理しない。

④ 出願後は、出願の取下げ及び出願書類等の記載事項の変更を認めない。また、出願書類等及び入学検定料は、返還しない。

⑤ 願書受付締切り後の出願資格確認を経て、出願を受理した場合は、インターネット出願システムにより受験票を表示する。受験票の表示開始は登録したメールアドレスあてお知らせする。なお、受験にあたり必要な情報は登録したメールアドレス宛てに送付するので、出願時には確実に届くメールアドレスを正確に入力するとともに、出願後はメールをよく確認しておくこと。

⑥ 受験票は、インターネット出願システムからダウンロードし、受験当日までに必ず印刷しておくこと。

（２）提出書類

アップロードする書類は、明瞭なものとすること。

	提出書類	留　意　事　項
1	入学願書・履歴書	インターネット出願システムに必要事項を入力すること。
2	修了(見込)証明書 　または 学位授与(見込)証明書	PDF にして､インターネット出願システムへアップロードすること。 出身学校長（学部長、学府長）が発行又は大学評価・学位授与機構が発行したもの。 ※出願資格（７），（８）で出願する者は除く。 ※入学手続きの際は、原本の提出が必要です。
3	修士課程（博士前期課程）の成績証明書	PDFにして､インターネット出願システムへアップロードすること。 出身学校長または学府長が証明したもの。 ※出願資格（７），（８）で出願する者は除く。 ※入学手続きの際は、原本の提出が必要です。
4	学部の成績証明書	PDFにして､インターネット出願システムへアップロードすること。 出身学校長または学部長が証明したもの。 ※出願資格（７），（８）で出願する者は除く。 ※入学手続きの際は、原本の提出が必要です。
5	修士論文等 または 研究論文等	PDFにして､インターネット出願システムへアップロードすること。 修士論文を申請中の者は、その写しを提出すること。 修士論文がない場合は、これまでの研究実績（業績）に関する書類を提出すること。

6	志願理由書	本学府所定の用紙を使用し、PDFにして、インターネット出願システムへアップロードすること。
7	入学検定料 （検定料30,000円）	入学検定料 30,000 円を次の方法により納入し、振込の控えを PDF にして､インターネット出願システムにアップロードすること。 【コンビニエンスストアによる支払いの場合】 ・振込み方法の詳細については、「九州大学入学検定料払込方法」を確認すること。 ・振込みを済ませたら、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を PDF にしてインターネット出願システムにアップロードすること。 【クレジットカードによる支払いの場合】 ・振込み方法の詳細については、「九州大学入学検定料払込方法」を確認すること。 ・振込みを済ませたら、「照会結果」を PDF にしてインターネット出願システムにアップロードすること。 ※振込可能期間は、１２月１２日（土）～１月１２日（火）とするので留意すること。
8	在留カード	PDF にしてインターネット出願システムにアップロードすること。 ※外国人在留者の志願者のみ提出。

※提出書類２，３，４，５，６については、日本語または英語で記載されたものを提出すること。日本語または英語以外で記載されている場合は、必ず日本語訳および公的な翻訳証明を添付すること。（提出書類５，６については、公的な翻訳証明は不要）

※九州大学の大学院修士課程を修了し、引き続き本学府の博士課程３年次に編入学する場合の入学検定料の取り扱いについて

次の各号のいずれかに該当する者については、検定料は不要とする。

1　九州大学の大学院修士課程を修了した者が、直ちに本学府第３年次へ編入学しようとする場合
2　九州大学大学院一貫制博士課程の第２年次を修了した者が、直ちに本学府の博士課程第３年次へ編入学しようとする場合
3　九州大学の全ての専門職大学院課程について、その課程を修了した者が、直ちに本学府の博士課程第３年次へ編入学しようとする場合
4　前３号において、修了後１年未満であり、かつ、次のいずれかの条件を満たす者
1）休学や留学等により修士課程等の修了時期が年度途中になり、直ちに入学ができない場合
2）秋季入学のため、修士課程等の修了時期が年度途中となり、直ちに入学ができない場合

６．出願システムへの入力期間

令和９年１月６日（水）午前１０時から、１月１２日（火）午後５時まで

７．出願資格の事前審査

（1）出願方法

一般選抜及び社会人特別選抜の出願資格（7）もしくは（8）により出願しようとする者は、願書を受理する前に出願資格の有無に関する審査を行うので、次により書類を取りそろえ事

前審査受付期間内にインターネット出願システムを利用して提出すること。
https://www.sls.kyushu-u.ac.jp/examinee/entrance_exam/

（2）事前審査に必要な書類
① 出願資格認定申請書（インターネット出願システムに必要事項を入力すること）
② 履歴書（インターネット出願システムに必要事項を入力すること）
③ 最終学校の修了（卒業）証明書（最終出身学校長または学府長が証明したもの。）
④ 最終出身学校の成績証明書
⑤ 志願理由書（本学府所定の用紙）
⑥ 研究実績（業績）調書（本学府所定の用紙）

※事前審査に必要な書類は、日本語または英語で記載されたものを提出すること。
③、④については、日本語または英語以外で記載されている場合は、必ず日本語訳および公的な翻訳証明を添付すること。

（3）事前審査受付期間
令和８年１１月１７日（火）～令和８年１１月２０日（金）午後５時まで

（4）事前審査の通知
事前審査の結果は、令和８年１２月７日（月）までに本人宛に通知する。

８．合　格　発　表
令和９年２月１２日（金）午前１０時に、九州大学伊都キャンパスウエスト１号館C棟２階のメインエントランスに掲示するとともに、合格者には本人宛にインターネット出願システムにて文書で通知する。また、大学院システム生命科学府のホームページ（https://www.sls.kyushu-u.ac.jp）にも合格者の受験番号を掲載する。（期間は２週間程度。）なお、電話等による問い合わせには一切応じない。

９．編 入 学 予 定 日
令和９年４月１日

10. 入学料及び授業料
入 学 料：２８２，０００円（予定）
授 業 料：２６７，９００円［年額５３５，８００円］（予定）
※上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されるので留意すること。

11. 注　意　事　項
（1）願書受理後の記載事項の変更は認めない。また、検定料の払い戻しは行わない。
（2）試験会場等の詳細については、受験票案内時に通知する。
（3）本学府では、入学時に希望した指導教員を変更することは認められないため、受験する際には、志望する「教育グループ」及び「指導教員」を熟考の上、決定すること。
（4）本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を受け付けている。
受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもあるので、出願前のできる

だけ早い時期に理学部等教務課学生支援係まで、連絡すること。

（５）出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合，または試験において不正行為があったことを示す明確な証拠が認められた場合は，合格後ならびに入学後においても遡って合格，及び入学を取り消すことがある。

12. 出願書類における個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用する。

１．合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用する。

２．成績証明書を、１年次における授業料免除等の就学支援業務で利用する。

３．出願書類に記載の個人情報を、個人が特定できないかたちで、本学における入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。

出願書類に記載の個人情報は，「個人情報の保護に関する法律」その他関連法令により認められる場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

【問合せ先】

〒819-0395　福岡県福岡市西区元岡７４４

九州大学理学部等教務課　学生支援係

（伊都地区ウエスト１号館Ａ棟３階３０５号室）

電 話 （０９２）８０２－４０１４

Ｆａｘ （０９２）８０２－４０１６

E-mail: rixgksien@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学大学院システム生命科学府の学生受入方針について

（アドミッション・ポリシー）

【求める学生像】

医歯薬学系分野または理農工学系分野での基礎学力を有し、システム生命科学の研究に取組む意欲を有する学生を受け入れる。なお、本学府が設置する社会人枠には、企業や民間の研究機関等に勤務している者で、本学府での教育研究での機会を希望する者を受け入れる。また、上記の基礎学力を有する海外からの留学生を受け入れる。

本学府での修学を目指す学生には次のことが求められる。

- 未知の現象や未解決の課題に対する好奇心
- 新たな生命科学領域に挑戦する積極性
- 異分野の領域の学習・研究に対する意欲
- 真理探究への情熱と忍耐力
- 生命に関する教養・倫理観

【入学者選抜の基本方針（選抜方式、選抜基準等）】

- 専門科目、外国語、面接その他必要な審査を行う。面接では、知識、技術能力、適性、研究計画等、多面的に評価する。
- 社会人特別選抜については、現職の研究者、技術者等の職歴、職務内容、研究計画等を考慮する。
- 外国人留学生を対象とした国際コース、学部３年次在学生特別選抜入試、および外国人留学生特別選抜については、知識、技術能力のみならず英語または日本語でのコミュニケーション能力、研究計画等についても考慮する。

九州大学大学院システム生命科学府概要

○教育の目的について

近年の生命科学は実験・計測機器の高度化により、膨大かつ詳細な情報を得ることで飛躍的な進展を遂げている。しかしながら、このような機器や解析法の開発、ならびにそこから得られる膨大な情報から重要な意味を抽出する作業を旧来の生物学、医学、農学分野の研究のみで行うには限界があり、情報科学および工学分野の理論と技術が不可欠である。システム生命科学府では、生物学、医学、農学、情報科学、工学の諸分野を横断的に融合した学際的な教育研究を行うことで、社会の多様な要請に応えうる独創性と柔軟性に富み、高度な能力と広い学識を備えた先端的研究者・教育者ならびに高度な専門職業人を養成する。そのために、本学府では生命情報科学講座、生命工学講座、生命医科学講座、および生物科学講座の４つの講座を置き、大学院教育を実施する。

なお、本学府には通常の教育課程の他、英語による授業等により学位取得可能なシステム生命科学国際コースを、副専攻として九州大学博士課程教育リーディングプログラムによる決断科学大学院コースを置いている。

○５年一貫制の博士課程について

本学府は前期と後期を区分しない５年一貫制の博士課程である。この課程に５年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導をうけ、博士論文を提出し、最終試験を受けて合格すると博士の学位が授与される。また、編入学者に対しては、入学前の履修状況により適宜修学指導を実施する。

なお、優れた研究業績を上げた者については、修業期間が短縮され早期に学位を授与される道が開かれている。

本学府で授与する学位はシステム生命科学を基本とし、理学、工学、情報科学のなかから選択することもできる。

○人材の育成について

本学府では、生物科学（医学、農学を含む）と情報科学、工学などの諸科学の融合的教育研究領域としての「システム生命科学」という新しい領域を担う優れた研究者と高度専門職業人の養成を目標としている。このような人材を養成するためには学際的・複合的な専門知識と研究方法の習得が必要であり、前期と後期を区別しない５年一貫制博士課程とするとともに、システム生命科学専攻１専攻としている。そこでは、初年次の講義では学部教育とは異なる分野の基礎的教科の受講を推奨するとともに、２年次後期、および３年次前期には学際開拓創成セミナーⅠ、Ⅱを必修科目として博士論文のテーマ選択へ反映させている。

このようにして、新しい学問体系の構築と既存学問の研究水準の維持・発展を兼ね合わせた学位授与システムを確立している。編入学者に対しては、入学前の履修状況により適宜修学指導を実施している。なお、優れた研究業績を上げた場合については、修業期間が短縮され早期に学位を授与される道が開かれている。本学府で授与する学位は、システム生命科学を基本とし、理学、工学、情報科学のなかから選択することもできる。また、２年修了時には所定の単位を修得し修士論文を提出し、 最終試験を受けて合格すると修士の学位が授与される。修了生は、生物科学と情報科学・工学の最先端技術と理論の融合によって生まれる新しい分野、システム生命科学を担う研究者として大学等や国公立研究機関、民間企業研究部門において活躍するとともに、システム生命科学の技術を基盤にした専門職業人という進路をとっている。

教育研究内容一覧

専門分野	担当教員名	研究内容
生命情報科学	教　授　鈴木　英之進 教　授　内田　誠一 教　授　興　雄司 教　授　備瀬　竜馬 教　授　平川　英樹 教　授　ヨハン　ローレンス 准教授　吉田　寛 准教授　金子　美樹 准教授　岡本　剛 准教授　手老　篤史 准教授　佐々　文洋 准教授　上野（姜）益俊	情報科学，統計科学の理論体系を駆使して，ゲノム解析ならびに生命の基本原理解析に関する教育研究を行うことによって，生命機能の解明とその医療応用を目指す。そのため，体系化された生命情報データベースを基にして，知識発見，学習機能，推論機能，センシング，モデリング，モデル化・シミュレーションのためのアルゴリズム開発手法とそのプログラミング技術，それらを統合した高速・高効率・高信頼で実行可能な統合計算機システムの構築と運用方法について教育研究する。
生命工学	教　授　＊　上平　正道 教　授　森　健 教　授　石田　謙司 教　授　工藤　奨 教　授　荒田　純平 教　授　片倉　喜範 准教授　水本　博 准教授　沼田　倫征 准教授　合志　憲一	動物培養細胞を利用した有用タンパク質等の生産理論の確立，抗老化・抗生活習慣病を目指した新規創薬・機能性食品の分子設計に関する教育研究を行う。また，細胞・生体組織の力学的・熱工学的挙動の解明や培養技術の開発，各種再生臓器に必要な生体親和性・生分解性に富む高分子材料ならびに生体用バイオセラミックス，複合材料の開発および人工臓器の開発のための教育研究を行う。さらに，分子レベルでの治療を可能とするナノテクノロジー技術，バイオイメージング，ナノ診断，光応用診断などの先端生体計測の開発と複雑系的手法を取り入れた生命システム解明に関する教育研究を行う。
生命医科学	教　授　＊　近藤　久雄 教　授　池ノ内　順一 教　授　須山　幹太 教　授　久保田　浩行 教　授　大川　恭行 教　授　原田　哲仁 教　授　落合　博 教　授　稲葉　謙次 教　授　長﨑　正朗 教　授　胡桃坂　仁志 教　授　斎藤　典子 准教授　馬場　崇 准教授　柴田　弘紀 准教授　渡部　聡 講　師　松沢　健司	ヒトのゲノム情報から見た，生物学的多様性の解析，生体維持機構の解析，多因子性疾患・難治性疾患の病因・病態解析，治療・予防法の開発等を行うために，ヒト生物学に関する膨大なデータと医学的知識を統合し，ゲノム科学を基礎に据えた情報科学，工学，生物資源科学との有機的な連携を図ることによって，疾患感受性や正常形質などのヒトの個体差に関わる重要問題を解明するための教育研究を行う。
生物科学	教　授　齋藤　大介 教　授　祢宜　淳太郎 教　授　田村　茂彦 教　授　＊＊　石原　健 教　授　高橋　達郎 教　授　立田　晴記 教　授　濱村　奈津子 教　授　松尾　直毅 教　授　佐竹　暁子 教　授　太田　訓正 教　授　手島　康介 教　授　吉村　成弘 准教授　寺本　孝行 准教授　青木　佳南 准教授　藤原　学 准教授　＊　仁田坂　英二 准教授　伊藤　太一 准教授　細川　貴弘 准教授　佐々木江理子 准教授　早川　敏之 准教授　新垣　誠司 講　師　熱田　勇士 講　師　林　良樹 講　師　中條　信成 講　師　山脇　兆史 講　師　楠見　健介	高等生物の基本的な生命現象を解明するために，動物及び植物の基本構造単位である真核細胞について，ゲノム遺伝子の発現制御，タンパク質の生合成・構造・機能制御，細胞内顆粒の動的存在状態と制御，細胞としての統合，細胞間の相互作用等について教育研究する。さらに，高次生命現象としての発生，分化，代謝，神経システムの働き，遺伝子から見た行動，学習，外部環境への適応等について縦断的な教育研究を行う。 動物の環境からの情報受容と応答，植物の光などの環境情報の受容と応答，個体の繁殖・社会生態等にみられるさまざまな適応戦略，海洋などの群集を対象とした群集構造の成立と存続，集団遺伝学的手法を用いた遺伝子レベルでの進化や多様性維持機構，さらにはこのような複雑な生命現象の数理生物学的解析などについて，分子・細胞・個体・集団の各レベルを統合した教育と研究指導を行う。これらの教育研究により，動植物の環境への応答メカニズム，生態学的手法に基づいた生物と環境との相互作用，進化的視点に基づいた生物多様性維持機構などの先端的研究に貢献できる人材を養成する。

＊は２０２８年３月末日定年退職予定

＊＊は２０２９年３月末日定年退職予定

	教育グループ	教 員 名	研究キーワード
生命情報科学	生命情報発見学	教　授・鈴木　英之進	データマイニング，機械学習，発見ロボット https://www.i.kyushu-u.ac.jp/~suzuki/suzuki-j.html
		准教授・吉田　寛	多変数多項式，多項式生命モデル/Polynomial-life model, 動的恒常性維持,再生場の理論
	生命情報処理学	准教授・岡本　剛	脳神経科学，生体医工学，フューチャー・デザイン https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~okamoto/
		准教授・金子　美樹	生体情報計測，生体センサ，人間情報科学，生体情報処理，健康情報学，生体医工学 https://www.isee.kyushu-u.ac.jp/laboratory_ist.html
	生命情報数理学	教　授・内田　誠一	バイオイメージインフォマティクス，画像情報学，パターン認識，機械学習，実データ解析 https://human.ait.kyushu-u.ac.jp/
		教　授・備瀬　竜馬	画像認識、バイオ医療画像解析、機械学習、数理最適化 https://human.ait.kyushu-u.ac.jp/~bise/index-en.html
		准教授・手老　篤史	数理モデル，行動制御，認識，単細胞，研究者学
	生命情報電子工学	教　授・興　　雄司	バイオ光センシング，レーザー，光機能材料，分光分析計測 https://www.laserlab.ed.kyushu-u.ac.jp/
		准教授・佐々　文洋	マイクロロボット、BioMEMS、動く電子回路、微小生化学センサ、細胞操作・培養マイクロデバイス https://biomicro.ed.kyushu-u.ac.jp/
	生命情報解析学	教　授・平川　英樹	ゲノム、トランスクリプトーム、多型、アノテーション、 バイオインフォマティクス https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/mogt/study.html
	認知神経科学	教　授・ヨハン ローレンス	意思決定，認知科学，生命倫理，視覚的認知，行動分析 https://dubitopress.blogspot.jp/
	生態毒性モニタリング・政策科学	准教授・上野（姜）　益俊	バイオセンチネル、生体音響・行動解析、生態毒性モニタリング、水の安全保障、環境政策提言

	教育グループ	教 員 名	研究キーワード
生命工学	生命プロセス工学	教　授・上平　正道	医用生体工学，組織工学，遺伝子工学，ウイルス工学， トランスジェニック動物 https://www.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/lab3/index.html
		准教授・水本　博	ハイブリッド型人工肝臓，再生医療，幹細胞，細胞組織体， 動物細胞培養 https://www.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/lab6/sls/
	生体医工学	教授・森　健	医療材料、医用化学、薬物送達システム https://sites.google.com/view/mori-lab
	生命物理工学	教　授・石田　謙司	有機/高分子超薄膜、フレキシブルデバイス、触覚・赤外線センサ、生体発電 https://www.qpn.ap.kyushu-u.ac.jp/
		准教授・合志 憲一	有機薄膜、有機半導体、有機光機能性材料、有機レーザー https://www.qpn.ap.kyushu-u.ac.jp/
	生体機能工学	教　授・工藤　奨	バイオメカニクス，バイオトランスポート， バイオマテリアル，細胞力学 https://www.bfe.mech.kyushu-u.ac.jp/
	先端医療デバイス	教　授・荒田　純平	機械工学，ロボット工学，メカトロニクス， 医療ロボット，遠隔操作ロボット https://amd.mech.kyushu-u.ac.jp/
	細胞制御工学	教　授・片倉　喜範	アンチエイジング食品，抗老化，食品機能，動物細胞工学 https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/crt/
	構造分子生物学	准教授・沼田　倫征	CRISPR-Cas系，非コードRNA， トキシン-アンチトキシン系，DNAの複製と修復

	教育グループ	教 員 名	研究キーワード
生命医科学	細胞工学	教　授・近藤　久雄	細胞内小器官（オルガネラ）の形成と維持，オルガネラの細胞周期変化，細胞内膜融合，小胞体とゴルジ体，オルガネラの試験管内再構成系 https://www.cellbiology.med.kyushu-u.ac.jp/Kondo-Lab.html
	細胞生物学	教　授・池ノ内　順一	上皮細胞、細胞接着構造、細胞膜、がん、上皮間葉転換 https://www.lab.med.kyushu-u.ac.jp/biochemistry/
		講 師・松沢 健司	細胞接着，集団細胞運動，細胞間コミュニケーション，シグナル伝達 https://www.lab.med.kyushu-u.ac.jp/biochemistry/
	性差生物学	准教授・馬場　崇	核内受容体による代謝制御，雌雄生殖腺の発生，クロマチン構造の性差 https://www.med.kyushu-u.ac.jp/seisaseibutu
	マルチオミクス	教 授・原田 哲仁	マルチオミクス、シングルセル解析、空間オミクス https://tx.bioreg.kyushu-u.ac.jp/
	情報生物学	教　授・須山　幹太	バイオインフォマティクス，情報生物学，遺伝子発現制御，がんゲノム，疾患ゲノム，エピゲノム，分子進化 https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/bioinfo/
	ゲノム医科学	准教授・柴田　弘紀	人類遺伝学，集団遺伝学，進化医学，ゲノム多様性，精神・神経疾患 https://www.gen.kyushu-u.ac.jp/~byouin/
	統合オミクス	教　授・久保田　浩行	統合オミクス，システム生物学，数理モデル，計算機シミュレーション，ホメオスタシス，シグナル伝達，代謝 https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/omics/
	トランスクリプトミクス	教　授・大川　恭行	エピゲノム，エピジェネティクス，転写，遺伝子発現制御，細胞分化，トランスクリプトミクス，クロマチン，ゲノム，バイオインフォマティクス，骨格筋分化 https://tx.bioreg.kyushu-u.ac.jp/
	遺伝子発現動態学	教　授・落合　博	転写動態，遺伝子，ゲノム高次構造，多能性幹細胞、生細胞イメージング、空間マルチオミクス https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/ged/
	トランススケール構造生命科学	教　授・稲葉　謙次	タンパク質品質管理，レドックス，カルシウム，亜鉛，膜トランスポーター、クライオ電子顕微鏡、超解像顕顕微鏡 https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/tssls/index.html
		准教授・渡部　聡	カーゴ受容体、シャペロン、金属タンパク質、膜タンパク質、クライオ電子顕微鏡　結晶構造解析
	バイオメディカル情報解析分野	教　授・長﨑　正朗	メディカルインフォマティクス、空間オミクス情報解析、大規模ゲノムコホート解析、ヒトゲノム情報解析、ヒトオミクス情報解析、システム生物学、ハイブリッド量子計算、大規模言語モデル、長鎖型シークエンス解析、大規模情報解析 https://nagasakilab.csml.org/
	クロマチン構造機能	教授・胡桃坂 仁志	クロマチン構造、エピゲノム制御、ヌクレオソーム、三次元ゲノム
	がんゲノム制御学	教授・斉藤 典子	三次元ゲノム構造、エピゲノム制御、がん分子病態

	教育グループ	教 員 名	研究キーワード
生物科学	動物発生生物学	教　授・齋藤　大介	発生生物学，始原生殖細胞，生殖工学，鳥類，細胞移動 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~animaldevelopment/
		講　師・熱田　勇士	四肢発生，リプログラミング，3次元培養，胸骨発生 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~animaldevelopment/
		講　師・林　　良樹	発生生物学、生殖系列、幹細胞、エピゲノム、細胞内代謝 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~animaldevelopment
	細胞機能学	准教授・寺本　孝行	線虫*C. elegans*，神経ネットワーク，蛍光イメージング，カルシウムイオン，マグネシウムイオン https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~funccell/
		講　師・中條　信成	発生生物学，アフリカツメガエル，細胞周期 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~funccell/
		講　師・山脇　兆史	昆虫，カマキリ，運動制御，神経行動学，神経回路 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~funccell/
	植物分子生理学	教授・祢宜　淳太郎	順遺伝学，気孔，陰イオンチャネル，転写因子，葉緑体,シロイヌナズナ https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~plant/
		講 師・楠見 健介	イネ，植物生理，環境応答，形態形成，葉緑体，CO2，ゲノム編集 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~plant/
	個体細胞動態学	准教授・青木　佳南	細胞接着，シグナル伝達，細胞骨格，組織形態形成
	分子細胞生物学	教　授・田村　茂彦	ペルオキシソーム欠損症，タンパク質複合体，病因遺伝子，オルガネラ恒常性，プロテインキネシス https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~molcellbiol/
	生体高分子機能学	教 授・吉村 成弘	タンパク質科学、生体高分子、がん、天然変性タンパク質、液-液相分離、細胞周期制御
	分子遺伝学	教　授・石原　健	線虫*C. elegans*，行動遺伝学，情報処理の分子メカニズム，嗅覚と行動可塑性，体内環境による行動制御 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~bunsiide/
		准教授・藤原　学	行動，神経可塑性，感覚回路，遺伝学， カルシウムイメージング，光遺伝学，線虫
	染色体機能学	教　授・高橋　達郎	DNA修復，クロマチン，ミスマッチ修復，染色体接着，相同組み換え，染色体複製，ツメガエル https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~chromosome/
	植物多様性ゲノム学	准教授・仁田坂　英二	アサガオ，形態形成，トランスポゾン，ナショナルバイオリソースプロジェクト，系統保存，遺伝学，変異体 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~plantgenomics/

	教育グループ	教 員 名	研究キーワード
生物科学	時間生物学	准教授・伊藤　太一	時間生物学，概日リズム，時計遺伝子，体内時計，睡眠 https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~chronobiology/
	生態科学	教　授・立田　晴記	進化生態学，生物測定学，生物多様性， 野生生物の保全管理，種分化，系統地理，行動 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~ecology/lab/
		教　授・濱村　奈津子	微生物生態学，微生物地球科学，微生物多様性進化， バイオレメディエーション，微生物ヒ素代謝， メタゲノミクス https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~microecol/
		准教授・細川　貴弘	進化生物学、行動生態学、昆虫学、微生物学、共生
	行動神経科学	教　授・松尾　直毅	マウス，記憶・学習，神経回路，シナプス可塑性， 遺伝子工学，行動解析，神経活動イメージング https://biology.kyushu-u.ac.jp/neuroscience/
	数理生物学	教　授・佐竹　暁子	生態，環境，進化，数理，ゲノム https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~satake/
		准教授・佐々木　江理子	量的遺伝学，ゲノム多様性，エピゲノム，環境，適応進化， モデル植物 https://bio-math10.biology.kyushu-u.ac.jp/member/sasaki.html
	幹細胞生物学	教　授・太田　訓正	幹細胞，ニッチ，多能性，リボソーム，Tsukushi，Akhirin https://kyushu-stemcellbiology.com/ja/
	進化遺伝学	教　授・手島　康介	集団遺伝，集団ゲノム，分子進化，ゲノム多様性，集団史， 適応進化，バイオインフォマティクス，シミュレーション https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~kteshima/
		准教授・早川　敏之	人類進化，ヒト化の分子基盤，糖鎖，霊長類，精神疾患， 進化医学 https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~kteshima/
	海洋生物学	准教授・新垣　誠司	生態学，群集，多様性，沿岸生態系，魚類，潮間帯，サンゴ http://ambl-ku.jp/

九州大学　入学検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

https://e-shiharai.net/



※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行なわず、
もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※クレジットカード・銀聯ネットは決済完了後の修正・取消はできません。
申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。➡



2 お支払い

セブン-イレブン
【払込票番号:13ケタ】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

ファミリーマート
【お客様番号:11ケタ】【確認番号:4ケタ】

マルチコピー機へ
↓
代金支払い
↓
番号入力画面に進む
↓
【お客様番号】【確認番号】入力

ローソン・ミニストップ
【お客様番号:11ケタ】【確認番号:4ケタ】

Loppi へ
↓
各種サービスメニュー
↓
各種代金・インターネット受付
↓
各種代金お支払い
↓
マルチペイメントサービス
↓
【お客様番号】【確認番号】入力

レジで代金を支払い、「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取ってください。

ペイジー対応ATM
ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

「税金・各種料金(ペイジー)」
を選択
↓
収納機関番号に【58021】と入力
↓
【お客様番号】【確認番号】を入力
↓
支払方法を選択
(現金またはキャッシュカード)し、
検定料をお支払い

ペイジー対応ネットバンク
ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

ネットバンキングにログインし、
「税金・各種料金の払込（ペイジー）」
をクリック
↓
収納機関番号に【58021】と入力
↓
【お客様番号】【確認番号】を入力
↓
画面上で金額を確認し、
検定料をお支払い（口座引落扱い）

ネット専業銀行
楽天、auじぶん、PayPay銀行他

お申し込み確定画面から
『ネットバンクでの支払い』
をクリック
↓
支払う銀行を選択して、
インターネットバンキングにログイン
※一度、ブラウザを閉じてしまった場合は、E-支払いサイトの「申込内容照会」からログインしてください。
その際には、11ケタのお客様番号が必要です。
↓
払込内容を確認し、
検定料をお支払い（口座引落扱い）

支払い完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された「受付番号」と「生年月日」を入力して【収納証明書】を~~印刷してください。~~
※プリンタのある環境が必要です。
PDFにして出願システムにアップロードする。

VISA　JCB　AMERICAN EXPRESS　UnionPay 銀聯

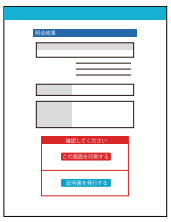
※お支払いされるカードの名義人は、
受験生本人でなくても構いません。
但し、「基本情報入力」画面では、
必ず受験生本人の情報を入力してください。

**Web申込みの際に、
支払いに利用するカードを選択
↓
画面の指示に従い、
支払手続を行ってください。**

3 出　願

【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を~~印刷して出願書類に封入して出願~~。PDFにして出願システムにアップロードする。



＜注意＞
**スマートフォンでお申込みされた方は、
プリンタのある環境でご利用ください。**

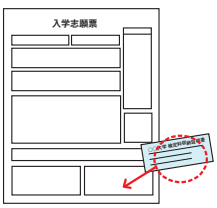
※当サイトにてお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印」は不要です。

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

**「入学検定料・選考料 取扱明細書」の~~「収納証明書」部分を切り取り、入学検定料収納証明書貼付台紙~~の所定欄に~~貼る。~~
をPDFにして出願システムにアップロードする。**



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに
「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載
されている糊はご使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※コンビニでお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印刷」不要です。

⚠ 注意事項

●出願期間を要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。

●支払最終日の『Webサイトでの申込み』は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時にお支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。

●「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

●一度お支払いされた入学検定料は返金できません。

●セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いの方は、支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、【収納証明書】を~~印刷して出願書類に貼付してください。~~PDFにして出願システムにアップロードしてください。

●「申込内容照会」で収納証明書が印刷できるのは、セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いされた場合に限ります。

●入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●銀聯でお支払いの方は、パソコンからお申込みください。
（携帯電話からはお支払いできません）

●取扱いコンビニ、支払方法は変更になる可能性があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

（ 一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ）　※いずれかを〇で囲む

令和９年度　九州大学大学院システム生命科学府博士課程編入学
志　願　理　由　書

氏　名 _____

教育グループ		希望指導教員名	

(1) 本学府を志願するに至った理由及び大学院で何をやりたいかについて書きなさい。
(2) 下記に書ききれない場合は、別紙に記入することも可能。しかしその場合は、別紙に記入する旨を明記すること。

（ 一般選抜 ・ 社会人特別選抜 ）　※いずれかを〇で囲む

研 究 実 績（業績）調 書

氏　　名	

学術論文名、著書、学協会、討論会、国際会議等での研究発表題名及び特許・発明の名称	発表論文誌の名称、巻、頁、発表年（印刷中または投稿中の場合は、その旨を記入すること） 発表学協会、討論会、国際会議等の名称及び発表年月日	共著者または同発表者氏名（本人を含め上から発表順に記入すること）

注（1）学術論文等は、別刷またはその写しを添付し、研究発表の場合は、要旨又は概要を添付すること。
（2）この用紙に書ききれない場合は、同様の形式のものを付加してもよい。